



40号 令和5年8月22日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

# 校長だより

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠



## 「心だに 誠の道にかないなば…」

校長室にも貼っている私の好きな歌を紹介させていただきます。

「心だに 誠の道に かないなば 祈らずとても 神や守らむ」

菅原道真（すがわらのみちざね）

直訳すると、「心さえ正しく、また行動もそれに伴っていれば、ことさらお祈りしなくても神様は必ず守ってくださるだろう」です。

御承知のように、この歌はともに醍醐天皇の補佐役をしていた藤原時平（ふじわらのときひら）が出世のために道真を落とし入れ、結果、道真が九州に左遷されてしまったときに詠ったものとされています。

その2年後、道真は無念の死を遂げますが、それからまもなく道真の左遷に関わった人はみな思わぬ死を遂げます。その後、道真の無念さを鎮めるために、道真は人神様として祀られることとなります。

このことを自分に引き寄せて考えてみると、今も昔も人の道は「茨の道」。いつもすべての人の理解が得られるわけではありませんし、あらぬ誤解を受けることを避けては通れない場合もあるような気がいたします。そんなとき、この道真の歌はことのほか勇気を授けてくれるような気がいたしますので紹介させていただきました。